



様式第8号 (第5条関係)

(その1)

平成28年4月27日

十和田市議会議長

工藤正廣様

会派名 かけはし

経理責任者 山端 博

平成28年度政務活動費収支報告について

十和田市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項の規定に基づき、
別紙のとおり平成28年度政務活動費収支報告書を提出します。

(その2)

平成 28 年度 政務活動費収支報告書

会派名 かけはし

1 収 入

政務活動費 360,000 円

2 支 出

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
調査研究費	143,410	11/14～16 大分市、亀岡市 (行政視察)
研修費	30,000	8/1～2 林活議員連盟 (むつ市)
広報費		
広聴費		
要請・陳情活動費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費		
人件費		
事務所費		
合 計	173,410	

3 残 額 186,590 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

(その3)

政務活動報告書

会派名	かけはし			
活動議員名 (取扱議員名)				
山 端 博				
区 分			合計金額	
① 調査研究費	2 研修費	3 広報費		4 広聴費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費	143,410 円
9 人件費	10 事務所費	※該当する区分に○印		
期間 (年月日)	平成 28 年 11 月 14 日 ~ 11 月 16 日 (2 泊 3 日)			
支出目的 (支出理由)	11 月 15 日 大分県大分市 「議員政策研究会の活動について」 11 月 16 日 京都府亀岡市 「地域ふれあいサイエンスフェスタについて」			
用務先 (支払先)	大分市役所、亀岡市教育研究所			
内容及び成果	別紙 視察報告書のとおり			

※領収書及び料金内訳書等の写しは裏面へ貼り付けしてください。

視察報告書

- ・日時 平成 28 年 11 月 15 日
- ・場所 大分県大分市 人口 48 万人
- ・項目 議員政策研究会の活動について

大分市議会議員政策研究会とは

地方分権から地域主権の時代を迎える中、自治体の権限と責任は拡大し、また、住民の代表である議会の果たす役割もますます大きくなっている。

二元代表制の一翼を担う議会は、自治体の最終意思決定機関であり、監視及び評価機能の一層の充実に加え、政策形成能力も求められている。

こうしたことから、大分市議会では平成 19 年 10 月、全議員による発会式を開催し、市民本位の立場で会派を超えた政策研究に取り組み、政策的条例案の策定や市長に対する政策提言を行うために、大分市議会議員政策研究会を立ち上げた。

・大分市議会では、議員の政策立案能力を高めようと、平成 19 年に議員政策研究会が発足し、平成 20 年には大分市議会基本条例、平成 23 年には大分市子ども条例、平成 24 年には災害対策に関する提言、27 年には大分市民のこころといのちを守る条例を制定しています。

会派を超え、全議員が政策課題を応募することができ、プレゼンテーションを経て採択されます。テーマが決定したら推進チームを中心に内容検討、調査研究に入ります。

この間、必要に応じて市民からのパブリックコメントや、専門家との意見交換会など複数回行い、条例の文言に生かすなど、住民との相互理解を醸成しています。

災害対策についても提言を出すだけでなく、議員全員が防災士の資格を取り、地域毎に防災会議を行うなど、積極的に行動しています。

議員相互の自由な討議や議員・議会自ら政策を立案することは、今後の議会にとって最も求められる事であります。当市においても、議員全員の力を結集して政策立案能力を高めていかなければならないと考えます。

視察報告書

- ・日時 平成 28 年 11 月 16 日
- ・場所 京都府亀岡市 人口 9 万人
- ・項目 地域ふれあいサイエンスフェスタについて

地域ふれあいサイエンスフェスタとは

亀岡市における産官学共同による科学・ものづくりイベントとして、市民（主に幼児・小学生・中学生及び保護者）に楽しく不思議な科学実験やものづくり等の体験を提供することを通して科学や環境・ものづくりへの興味関心を高め、『感動するところ』や『探求しようとするところ』を育むことを目的とし開催を続け、今年で 20 年目を迎えます。

・平成 9 年から親子ふれあいサイエンスフェスタとしてスタートし、20 年を超える科学的イベントであります。次代を担う子どもたちに豊かなサイエンス・ものづくり体験と思い出づくりを基本におこなっています。基本的に参加者は親子であり、亀岡市の近隣地域の企業や学校情報を紹介するブースがあり、市民に地元のことを広く知ってもらおう事が、一番大きなねらいとのことです。

平成 27 年度の成果としては、約 4000 人の来場者、370 人のボランティア協力者が参加されております。亀岡市近隣から 14 の企業の協力、近隣すべての高校・大学の協力もあり、58 の体験ブースを設置できた。またその後、地元企業による小学校への出前講座、様々な実験を小学校で活用されています。

一方課題としては、減少する予算内での内容・質の充実や、協力ボランティアの確保、サイエンスフェスタ実施による効果の把握などがあげられます。

当市では、あまり科学と縁がないように感じるが、大事なのは将来を担う子どもに、地元でどのような企業があり、どのような活動をしていたりなど、知り、体験できる親子参加型のイベントの開催、周知が必要であると考えます。

研 修 費

林活議員連盟視察

- ・平成 28 年 8 月 1 日
 - ・三八上北森林管理署
 - ・森林・林業の現状について
-
- ・戦後造成された役 1000 万 ha の人工林は本格的な利用期を迎えている。
 - ・森林資源として 8 秒で家一軒分の蓄積が増加している。
 - ・国産材の素材価格は、昭和 55 年をピークとして長期的に下降傾向にあったが平成 21 年以降は、スギ・カラマツは横ばいで推移している。
 - ・近年の国産材供給量は増加しており、木材自給率も平成 14 年の 18.8% から平成 27 年には 31.2% に回復するなど、明るい兆しである。
-
- ・現状としては
 - 供給量の増加
 - 生産性の向上
 - 労働者の若返り
 - 国産材需要の増加
 - 経営の改善
 - 自給率の増加といった現状である。
-
- ・東北 5 県の現状においても同じく増加傾向であり、今後のバイオマス発電所の計画により、東北における木材需要は今後さらに増加すると予想される。

平成 28 年 8 月 2 日

- ・下北地方森林組合
 - ・集約化施業について
-
- ・(提案型) 集約化施業とは
 - 1・小規模に分散した複数の森林所有者の隣接する森林の取りまとめ。
 - 2・森林所有者に一連の森林施業について提案。
 - 3・必要に応じて、木材の生産・搬出に必要な作業道や架線を整備
 - 4・集約化により複数の森林を一体的に整備することが可能となり、林業機械を用いて効率よく施業を進める。
 - 5・その結果、森林内に光が入り、下草が生え、木の成長が促進される。それにより土砂災害の軽減、生物多様性の増加につながり、財政面・環境面においても森林の価値を高めることができる。

(その2)

平成 28 年度 政務活動費収支報告書

会派名 かけはし

1 収 入

政務活動費 360,000 円

2 支 出

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
調査研究費	143,410	11/14~16 大分市、亀岡市 (行政視察)
研修費	30,000	8/1~2 林活議員連盟 (むつ市)
広報費		
広聴費		
要請・陳情活動費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費		
人件費		
事務所費		
合 計	173,410	

3 残 額 186,590 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

【平成28年度分 領収書】

研 修 費

《かけはし》